



2021年12月期 第2四半期決算説明資料

2021/08/25

株式会社Welby
(証券コード 4438)

目次

1 会社概要

2 2021年第2四半期業績

3 今期重点取組施策

4 今後の成長

5 参考資料



“Empower the Patients”

患者が、自ら情報を得て、自ら行動して、自ら判断する

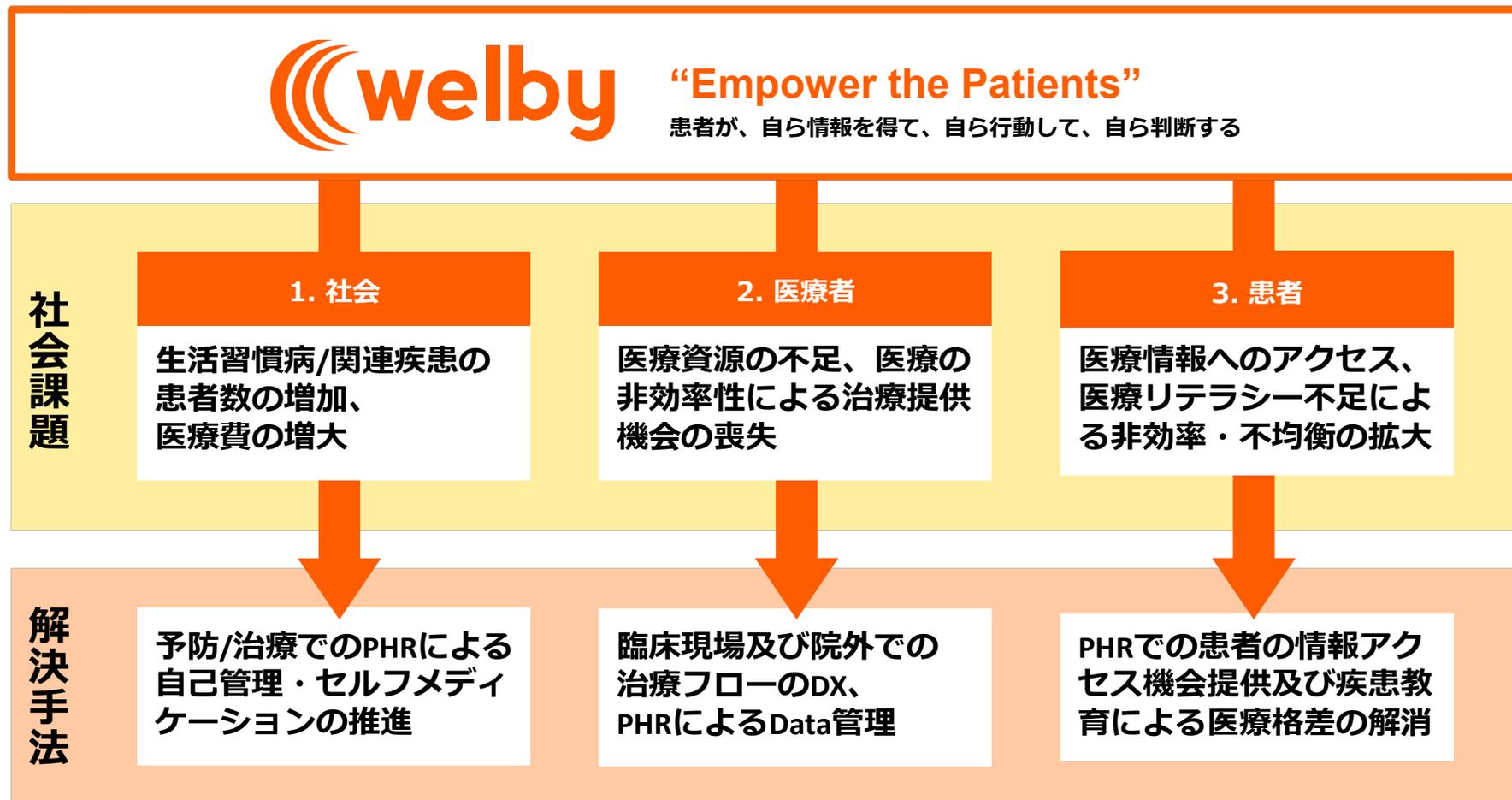


Now



Future

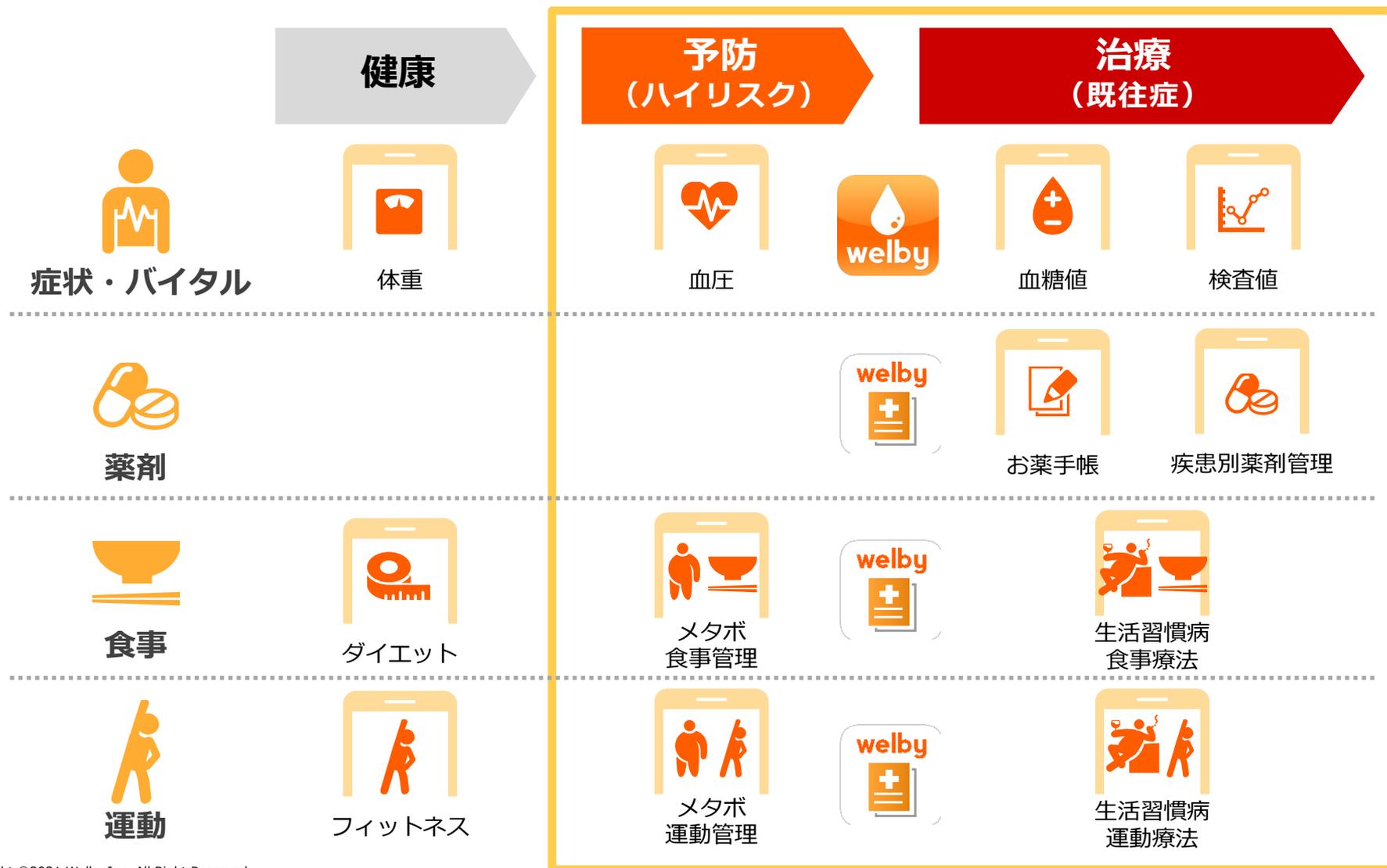
当社は、MissionであるEmpower the Patients の実現を通じて、医療にまつわる様々な社会課題を解決して参ります。



※PHR:Personal Health Recordの略で個人のHealth Recordを管理共有する仕組み

予防・治療領域に特化したPHRプラットフォームサービス。

治療領域は健康・予防領域に比べて、参入障壁が高く当社は規模感で競争優位性あり。



「治療アプリ」として、PHRを処方する時代に

～医療機関にて患者に疾患別アプリを紹介：糖尿病、高血圧、がん 等～

1 医師が患者にアプリを紹介

クリニック専用パンフレットで案内
クリニック専用アプリを提供



2 患者自身がかんたん記録

バイタル / 食事 / 運動 / 処方(QRコード) /
検査値(QRコード)等測定機器と連動

Bluetooth® HRジョイント。



4 療養指導を効率的/効果的に 患者の治療が継続

治療継続・効率化

アウトカム改善



3 データをグラフ化、印刷 データは医療機関と共有

医療機関の
PC / タブレット等で確認



食事管理



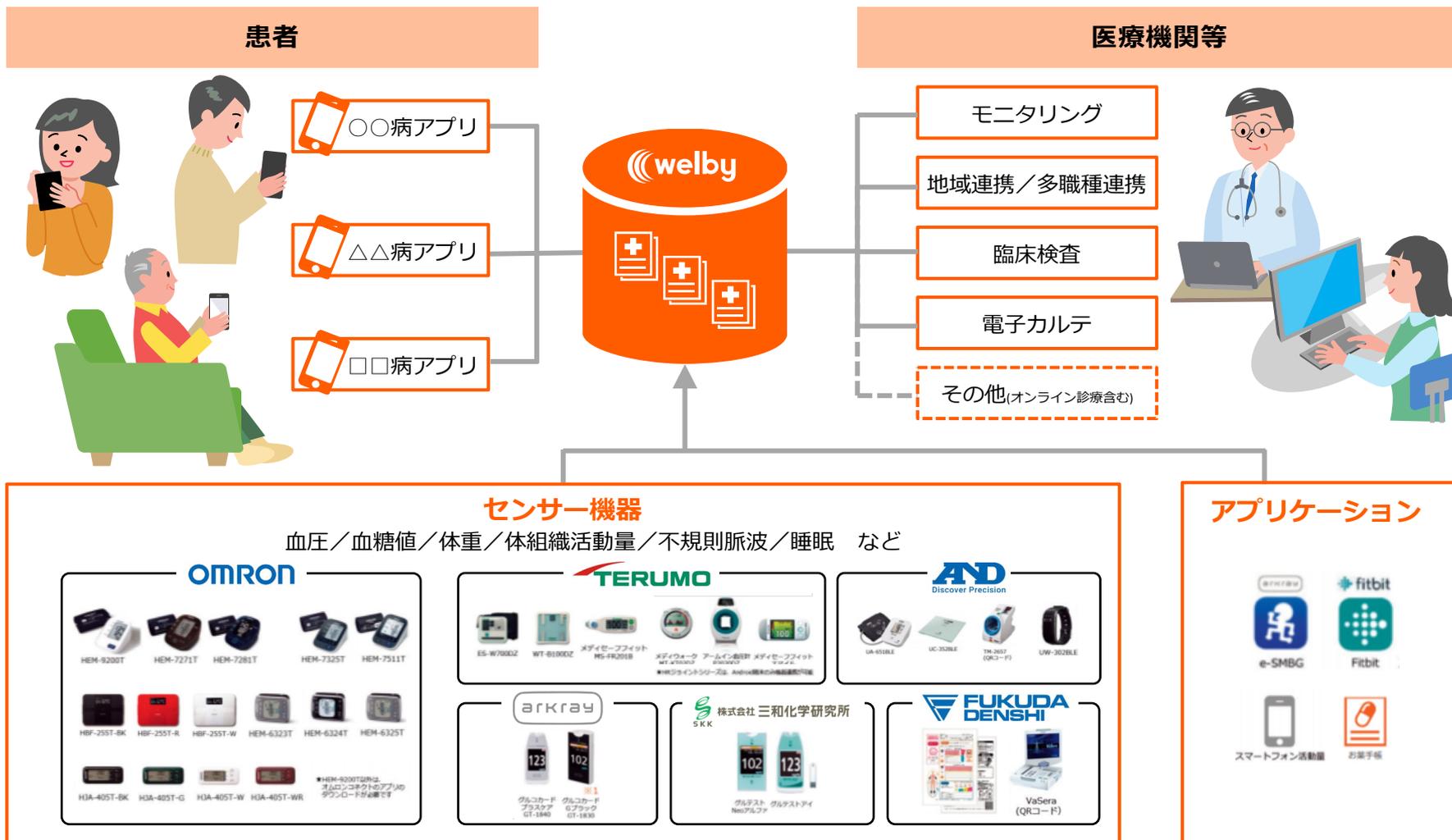
血圧・体重



血糖値



各種医療サービス・機器と連携可能な患者起点のデータプラットフォームを提供



当社は、社会課題解決をパートナー企業と連携して進めてまいります。

プラットフォーム構築
(Data/サービス)

社会実装
(普及/収益化)

Digital Garage

intage

OMRON

FUKUDA DENSHI

株式会社 三和化学研究所
SKK

TERUMO

arkray

FUJITSU

UP HOLDINGS 日本郵政

SUZUKEN

AstraZeneca

Aflac

Benefit one

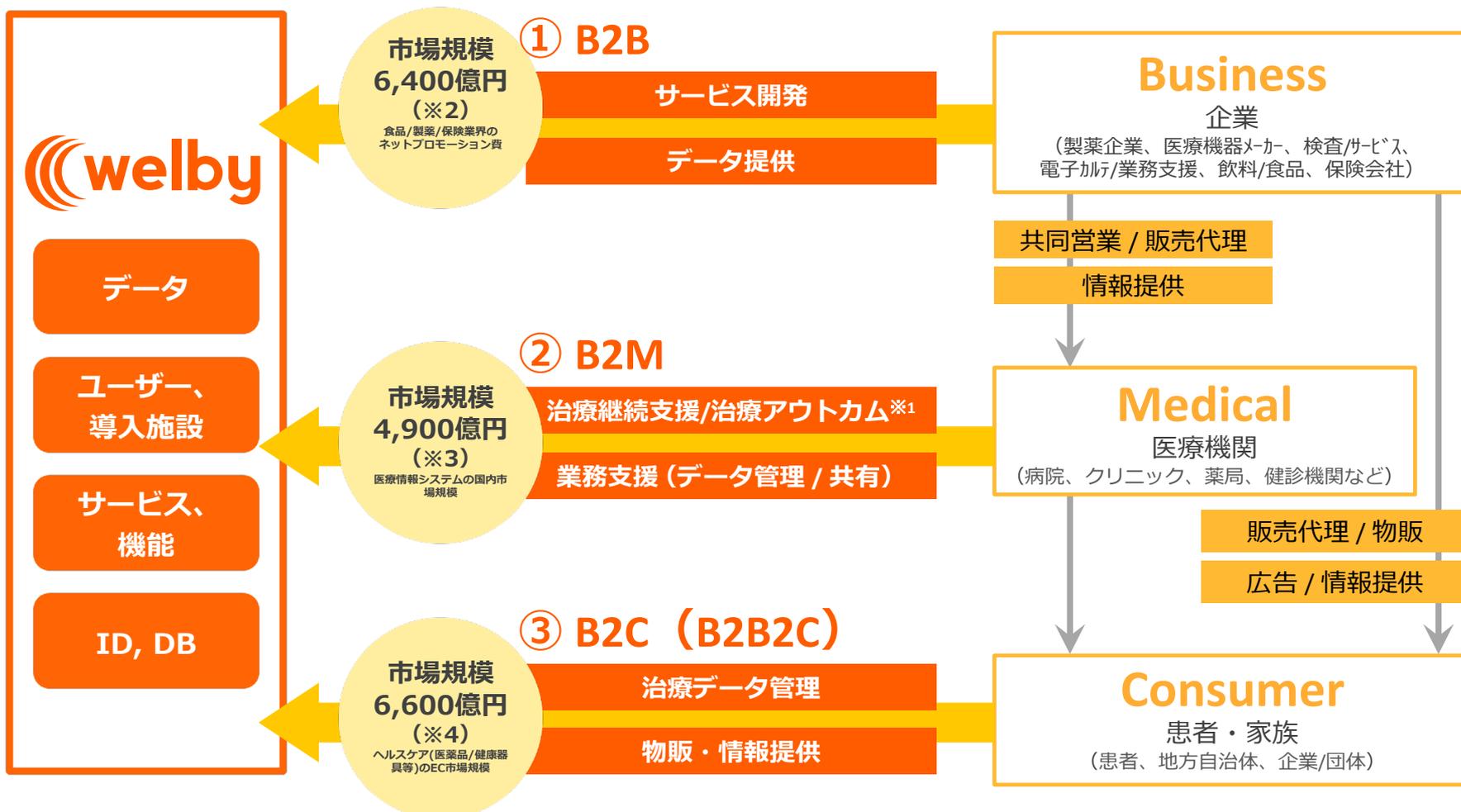
NTT docomo

Designing The Future
KDDI

SoftBank

dentsu





●疾患ソリューション事業は主に①B2Bの製薬企業向けビジネス(生活習慣病を除く)、マイカルテ事業は主に生活習慣病向けPHRビジネスを①B2B、②B2M、③B2C(B2B2C)向けに展開するビジネス。

※1:治療や予防などの医学的介入から得られるすべての結果のことを指す。臨床研究においては、介入効果によって得られる判定項目をアウトカムという。

●各ドメインの市場規模は下記より当社推計

※2:dentsu「日本の広告費」 https://www.dentsu.co.jp/knowledge/ad_cost/2020/business.html

※3:富士経済「医療情報システムの国内市場を調査」 <https://www.fuji-keizai.co.jp/file.html?dir=press&file=20026.pdf&nocache>

※4:経済産業省「令和元年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業」 <https://www.meti.go.jp/press/2020/07/20200722003/20200722003-1.pdf>

目次

1 会社概要

2 2021年第2四半期業績

3 今期重点取組施策

4 今後の成長

5 参考資料

COVID-19への対応

- ・ 新型コロナワクチン接種前後の症状管理・共有を担うPHRプラットフォームを提供
- ・ 富士通Japanの電子カルテシステムと新型コロナワクチン接種管理サービスの連携を開始

PHRサービスの収益化の拡大

- ・ WJOG（西日本がん研究機構）主導の観察研究で、ePRO (electronic Patient Reported Outcome) として「WelbyマイカルテONC」が採用
～QOL(Quality of life)を含む試験評価を目的に、PHRプラットフォームを活用した臨床研究を実施～
- ・ Welby、ノバルティスファーマと連携しITP(特発性血小板減少性紫斑病)患者向けの治療支援サービスを開始
- ・ 電通とWelbyがPHRを基点とした生活者個人に合わせたヘルスケアサービス創出を目指し業務提携
～PHRプラットフォームを活用したパーソナライズド・ヘルスケアを共同で推進～

自社プラットフォームの開発、強化

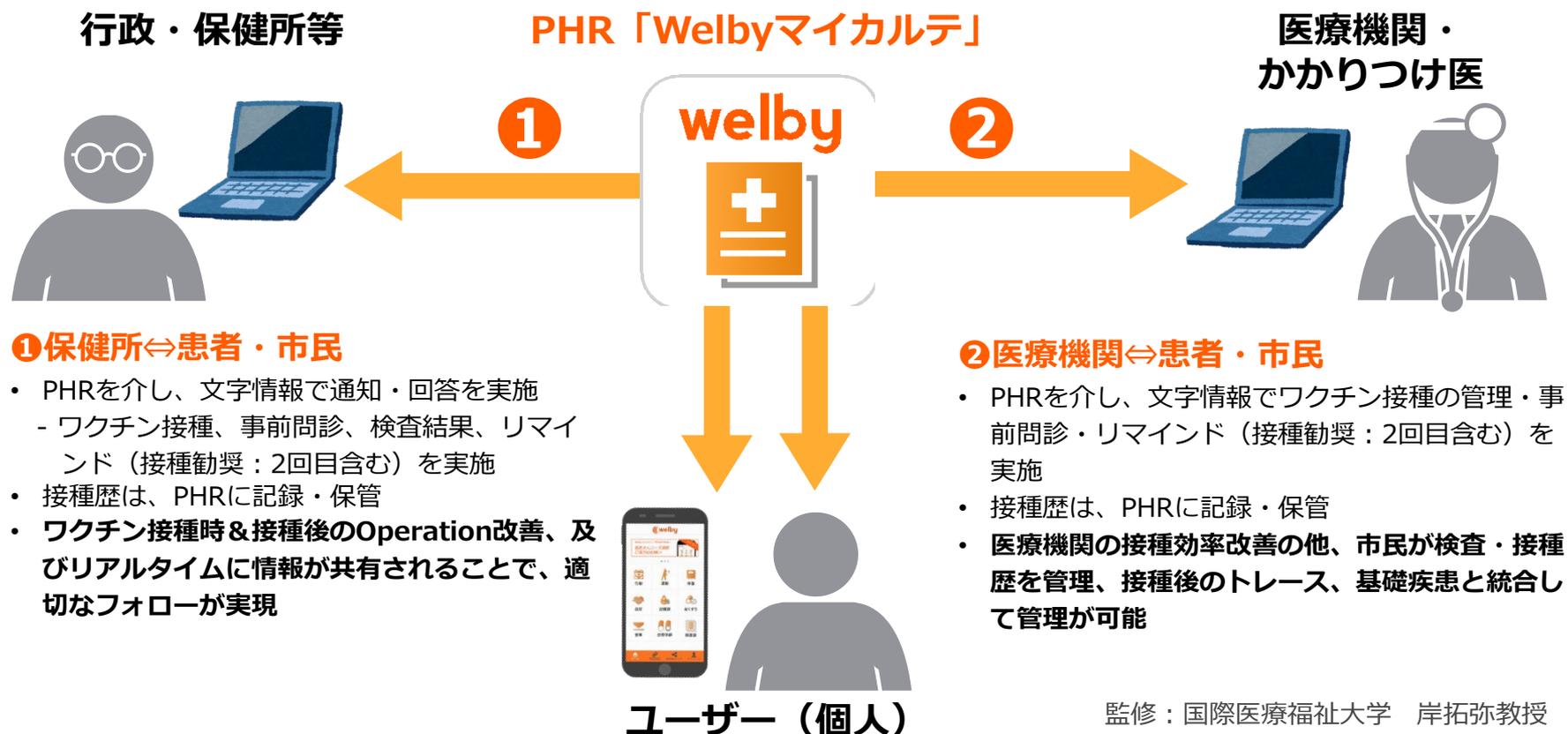
- ・ Welby、徳島大学とAIを活用した糖尿病自己管理支援システムの共同研究を開始
～糖尿病患者一人ひとりに最適化されたメッセージによる行動変容等を実現へ～
- ・ ISO27017 (ISMSクラウドセキュリティ認証) を取得
～国際規格に基づくクラウドセキュリティの管理・運用体制を設け、より安心・安全なPHRサービスを実現～

Real World Dataプラットフォーム構築を推進

- ・ プラットフォーム基盤開発への先行投資の強化
- ・ Welbyとインテージヘルスケアの資本業務提携によりリアルワールドデータ事業化を推進
～PHRプラットフォームによるリアルワールドデータ活用を中心とした事業推進を強化～

2021年3月、PHRサービス「Welbyマイカルテ」の拡充機能として、新型コロナワクチン接種管理サービスをリリース。PHRプラットフォームの機能（記録・共有）を用い、医療機関やユーザーの利用ニーズに迅速に対応

COVID-19対応 | 新型コロナワクチン接種管理サービス



① 保健所⇔患者・市民

- PHRを介し、文字情報で通知・回答を実施
 - ワクチン接種、事前問診、検査結果、リマインド（接種勧奨：2回目含む）を実施
- 接種歴は、PHRに記録・保管
- ワクチン接種時&接種後のOperation改善、及びリアルタイムに情報が共有されることで、適切なフォローが実現

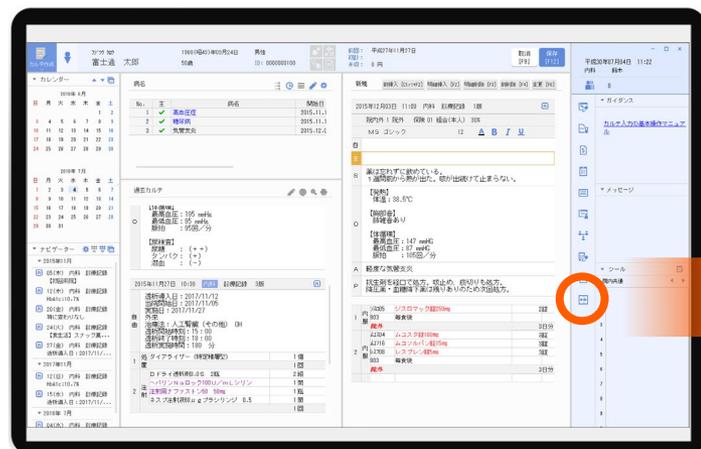
② 医療機関⇔患者・市民

- PHRを介し、文字情報でワクチン接種の管理・事前問診・リマインド（接種勧奨：2回目含む）を実施
- 接種歴は、PHRに記録・保管
- 医療機関の接種効率改善の他、市民が検査・接種歴を管理、接種後のトレース、基礎疾患と統合して管理が可能

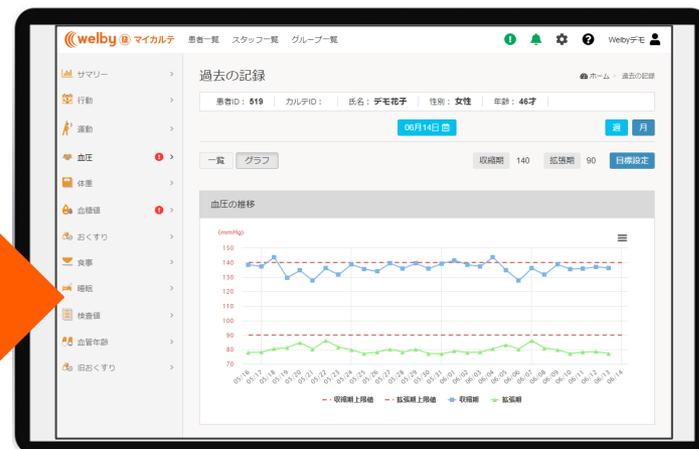
監修：国際医療福祉大学 岸拓弥教授

2021年5月、富士通Japanの電子カルテシステムと、Welbyが提供をする新型コロナウイルスワクチン接種管理サービスの連携を開始

- 富士通Japanの電子カルテシステム「HOPE LifeMark-SX」とWelbyマイカルテ、及び新型コロナウイルスワクチン接種管理サービスを連携（下記図参照）
- 両システムを同一端末で同時利用することが可能。医師は、従来の電子カルテ情報に加え、患者自身が所有する医療情報（PRO：Patient Reported Outcome、ワクチン接種前後の症状記録を含む）を併せ、診察・診断や療養指導に利用できる



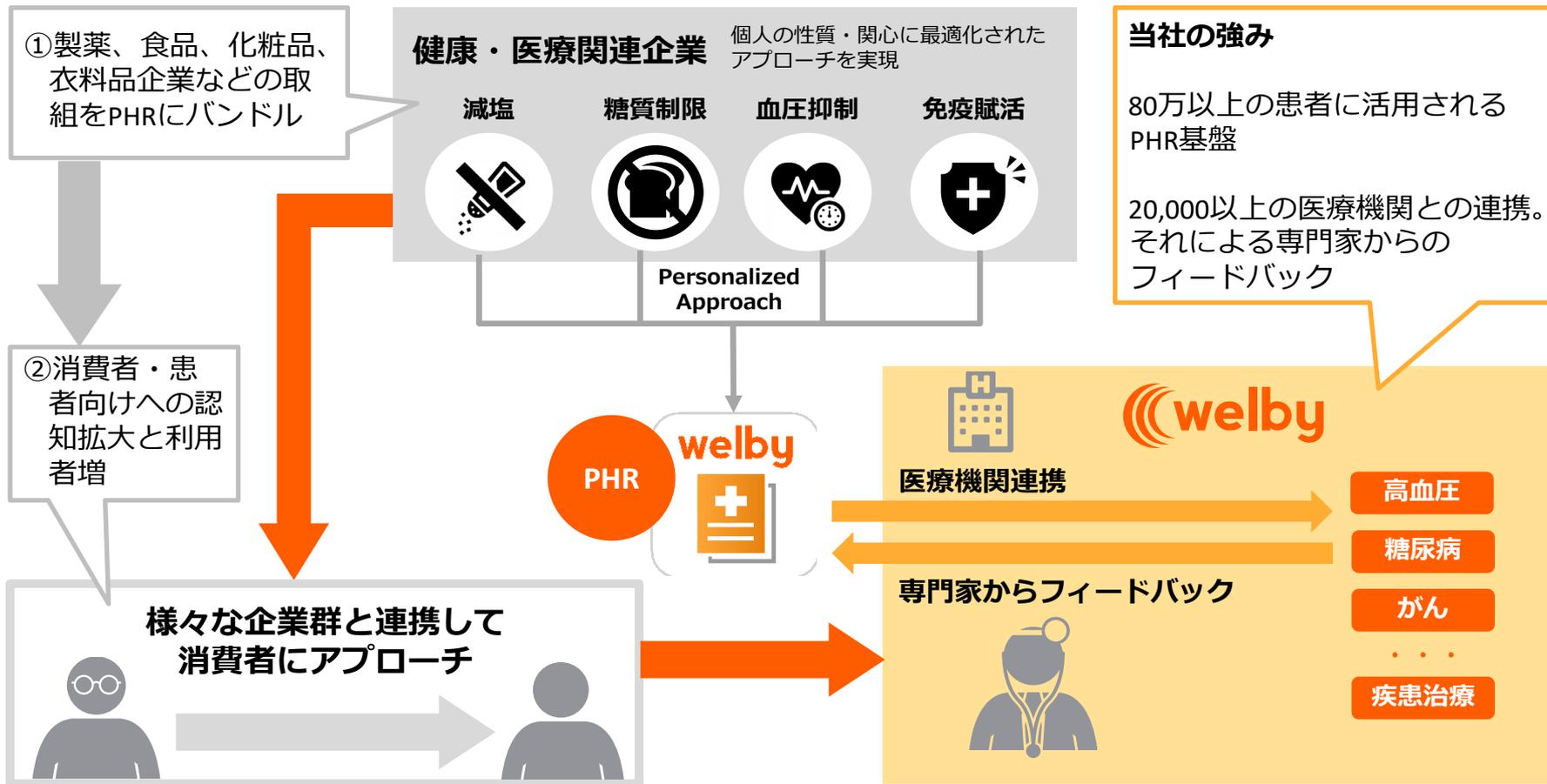
サービス連携



電通グループとの提携：PHRによるパーソナライズサービス推進

健康・医療関連企業にPHRを基盤としたパーソナライズ(個別化)アプローチの機会提供を電通グループと共に取り組んでまいります。

dentsu dentsu health × welby

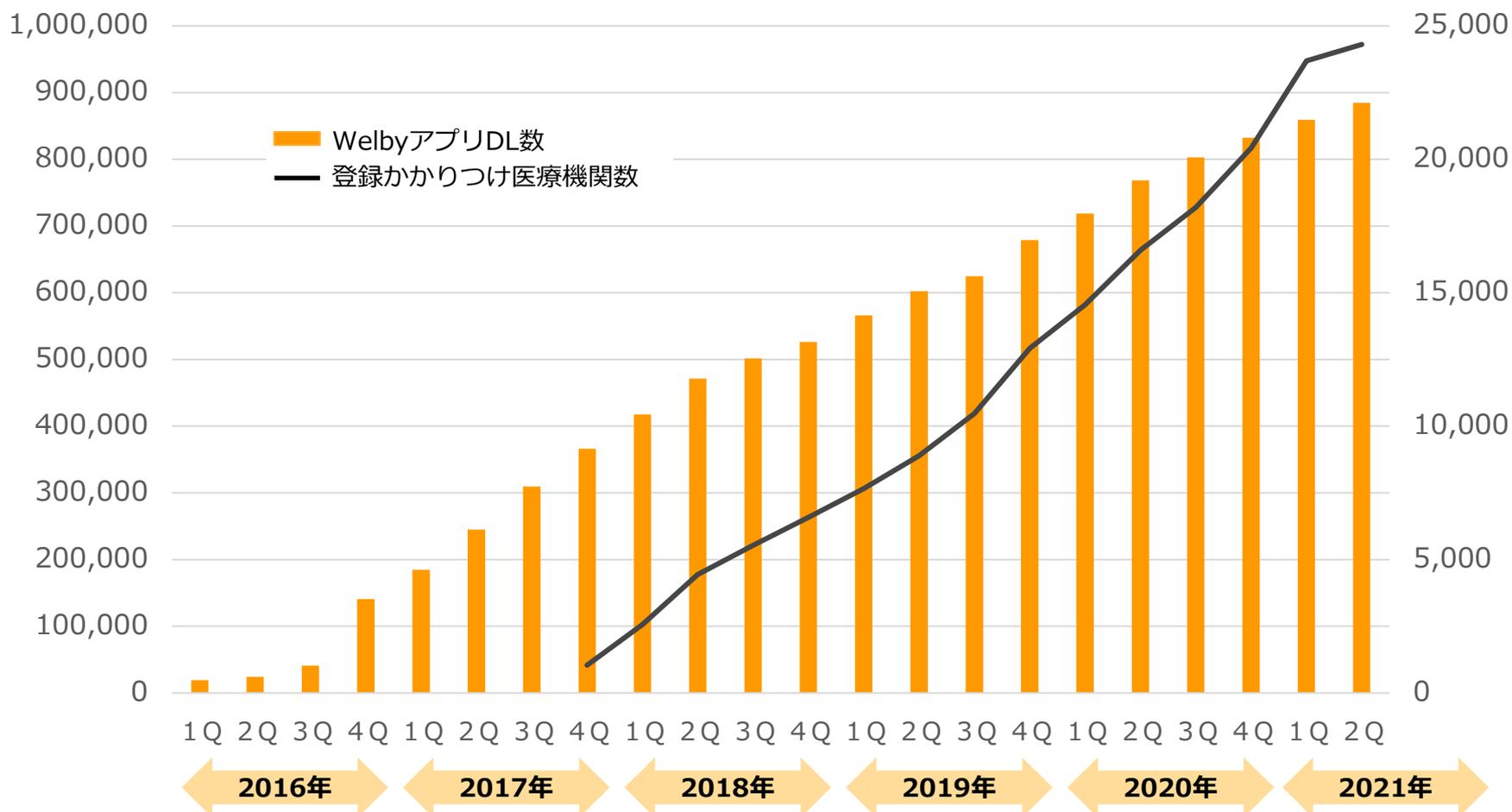


これまでの活用してきたPHR基盤とPHR製造部品を体系化。開発速度と品質を向上させ、PHR量産体制を準備することで競争優位性の向上に寄与。

取組分野	プラットフォーム開発室の取組	活用する事業領域
PHRサービス	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">糖尿病アプリ</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">循環器アプリ</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">呼吸器アプリ</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">精神疾患アプリ</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;">がんアプリ</div> </div>	疾患ソリューション 対象疾患の継続的拡大でユーザー獲得を進める
PHR PF Developers Kit (エコシステム構築)	各種SDKの提供による開発者支援 (Welby IDログイン, 同意取得, 評価指標など)	ステークホルダーを巻き込み大きなPFへ
マイカルテ事業 医療機関連携	マイカルテ事業を中心とした医療機関とのデータ連携 (医療者向け画面, 服薬情報連携, EHR連携など)	医療機関連携先の拡大 (クリニックだけでなく薬局等も)
PHR PF データマネジメント	各種データ連携API / 提供機能APIの開発 (機器連携, 臨床データ連携, 医療マスタAPIなど)	データ統合によるDXの推進 マーケティング活用 (Personalized DTC)
PHR PF Welby ID/DB基盤	WelbyID・DBプラットフォーム共通基盤の開発 3省2ガイドライン, HIPAAを参照したセキュリティ及び情報管理体制	エビデンスソリューション強化

【共通プラットフォーム構築の狙い】 共通部品での統一品質、共通の開発手法での速度向上、共通基盤化での統一のセキュリティ品質。早期に共通化による新規開発の効率化、開発速度や品質向上による案件数増加に伴う売上増加を見込む。

2021年6月末現在でアプリDL88万人超、登録かかりつけ医療機関数は2.4万施設 コロナワクチン接種管理ツールも後押し

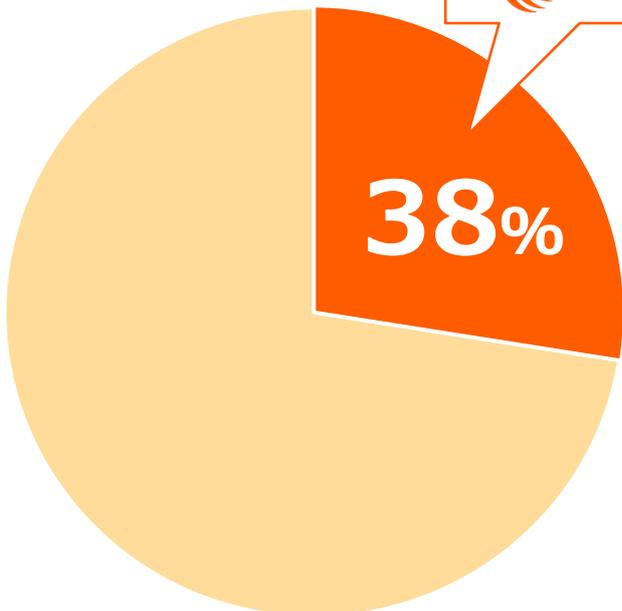


クリニックを中心に約24,300 医療機関でPHRが活用。「かかりつけ医」の役割を担う全国の内科系クリニックの4割に迫る。先行導入する医療機関とも連携し、更なる普及を推進へ

Welby導入は内科系クリニック (約64,000件*) の4割に迫る



38%



*)厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査・病院報告の概況」より算出

Welbyを活用する医師の PHRのエビデンス・発信

読書新聞 全国版・朝刊

2021年1月14日

【医療ルネサンス】アプリで健康に生活習慣病データで管理

プレスリリース

2021年8月20日

PHR活用で生活習慣改善に対するコンプライアンスの向上と、HbA1cの改善が示唆
日本糖尿病学会誌『糖尿病』に掲載

報道関係 各位
PRESS RELEASE

2021年8月20日

株式会社 Welby

PHR 活用で生活習慣改善に対するコンプライアンスの向上と、HbA1cの改善が示唆
— 「Welby マイカル」を用いた研究が、日本糖尿病学会誌『糖尿病』に掲載 —

株式会社 Welby (本社：東京都中央区、代表取締役：比木武、以下 Welby) は、PHR (Personal Health Record ※1) アプリとして Welby でマイカル (以下、マイカル) を用いた臨床研究論文である Personal Health Record (PHR) による糖尿病患者の生活習慣の改善 (とまがクリニック糖尿病・生活習慣病センター、所長：東京都新宿区、院長 橋本 修) の中で、マイカルでの活用により、生活習慣改善に対するコンプライアンスが向上し、アウトカムとして HbA1c が改善することが示唆されたとの報告がなされたため、お知らせいたします。

同臨床研究は、とまがクリニック 院長 橋本修によるもので、2 型糖尿病患者の病態において、マイカルでの健康情報記録も活用して、HbA1c と体重の低下効果を検討したものです。同クリニックに通院患者の、同意が得られた 2 型糖尿病患者 74 例を対象に行われました。

研究結果として、全体集団の HbA1c に低下改善が認められたほか、95 歳未満利用度群 (15 回/月以上) においては HbA1c がベースラインより 95 1 か月後に 6.8% に有意に低下し、その後も 6 か月後まではほぼ一定に維持されたことが報告されました。

また、これを対象とした研究では、「この結果はマイカルでの使用が治療へのアドヒアランスに影響した可能性を示唆するものである」(図説 P345 L9-11) と認められ、「PHR を利用することで血圧や体重の測定が習慣づけられ、食事内容などを意識するようになったことが考えられる」(図説 P348 L7-9)、「スマートフォン上につかた可用性も考えられる」(図説 P348 L13-12)、「食事や運動が病態に与える可能性を示唆」(図説 P348 L13-14) 等が示されています。

なお、本論文は先行し、2019 年 5 月に開催された第 62 回日本糖尿病学会年次学術大会で、「PERSONAL HEALTH RECORD を用いた糖尿病患者管理」と題し、朝野院長によるポスター発表がなされています。

【図説】報告番号 糖尿病 64 (9) : 345-349, 2021 2020E
Welby では、PHR サービスの提供もあわせて、様々な医療機関と連携する、30 歳未満の糖尿病患者の生活習慣改善を支援しています。今後、この臨床研究に用いたデータで、日本人に合わせた、PHR サービスの導入実績や、PHR での医療サービスの研究実績を発信していくことにより、治療アドヒアランス向上を支援していきます。

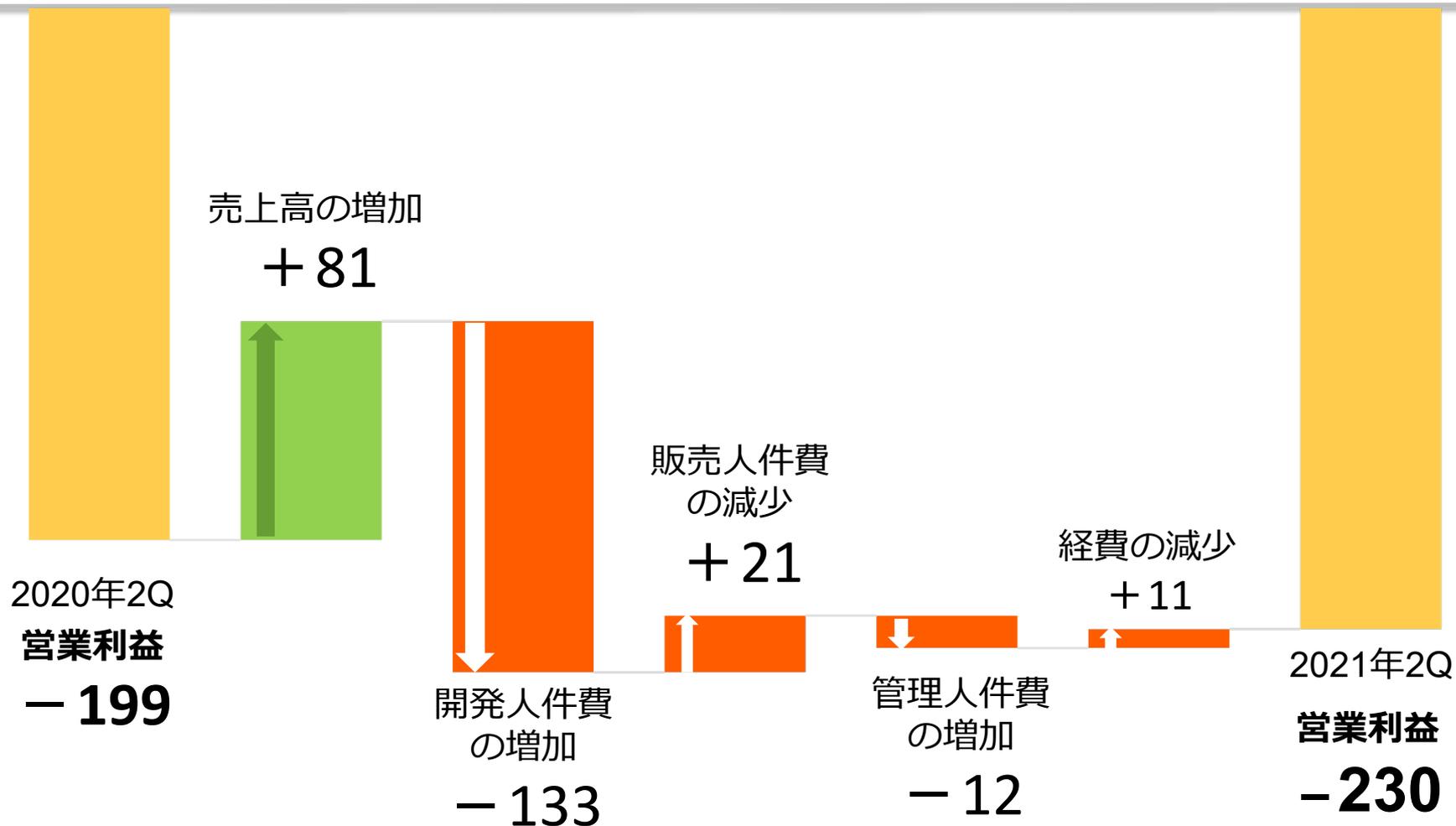
売上高は前期比+26.5%の増収(新型コロナによる受注遅延などの一部影響あり)

営業利益は事業拡大に向けた開発人件費増などにより前期比▲31M

(単位：百万円)

	2021年 2Q実績	2020年 2Q実績	増減額	増減率
売上高	389	307	+81	+26.5%
(疾患ソリューション事業)	355	213	+141	+66.0%
(マイカルテ事業)	34	93	-59	-63.6%
営業利益	-230	-199	-31	—
(利益率)	-59.1%	-64.7%	5.6%	—
経常利益	-230	-198	-31	—
当期純利益	-173	-138	-35	—

プラットフォーム開発を含めた事業拡大のための開発人件費の投資を強化



流動資産減は主に売掛金の決済タイミングによるもの

(単位：百万円)

BS

	2021年 2Q末	2020年 4Q末	増減額
流動資産	1,265	1,461	-195
固定資産	118	58	+59
資産 合計	1,384	1,520	-136
流動負債	178	147	+31
固定負債	11	15	-3
負債 小計	190	162	+27
純資産	1,168	1,342	-173
純資産 小計	1,193	1,357	-163
負債・純資産 合計	1,384	1,520	-136

CF

	2021年 2Q	2020年 2Q	増減額
現預金の期首残高	1,098	1,208	-110
営業キャッシュ・フロー	-42	26	-68
投資キャッシュ・フロー	-11	2	-13
財務キャッシュ・フロー	-3	14	-17
現預金の期末残高	1,041	1,251	-210

目次

1 会社概要

2 2021年第2四半期業績

3 今期重点取組施策

4 今後の成長

5 参考資料

疾患ソリューション事業

- 製薬企業向け疾患領域別PHRのOEM開発の更なる拡大（30+疾患領域をカバー）
- 疾患領域別PHRの医療機関・患者への臨床現場での普及、事業拡大：
～オンコロジー領域、循環器領域、糖尿病・代謝領域でのプラットフォーム化の推進～
- 臨床研究向けePRO、データソリューションを強化：パートナーシップでのサービス強化・拡販

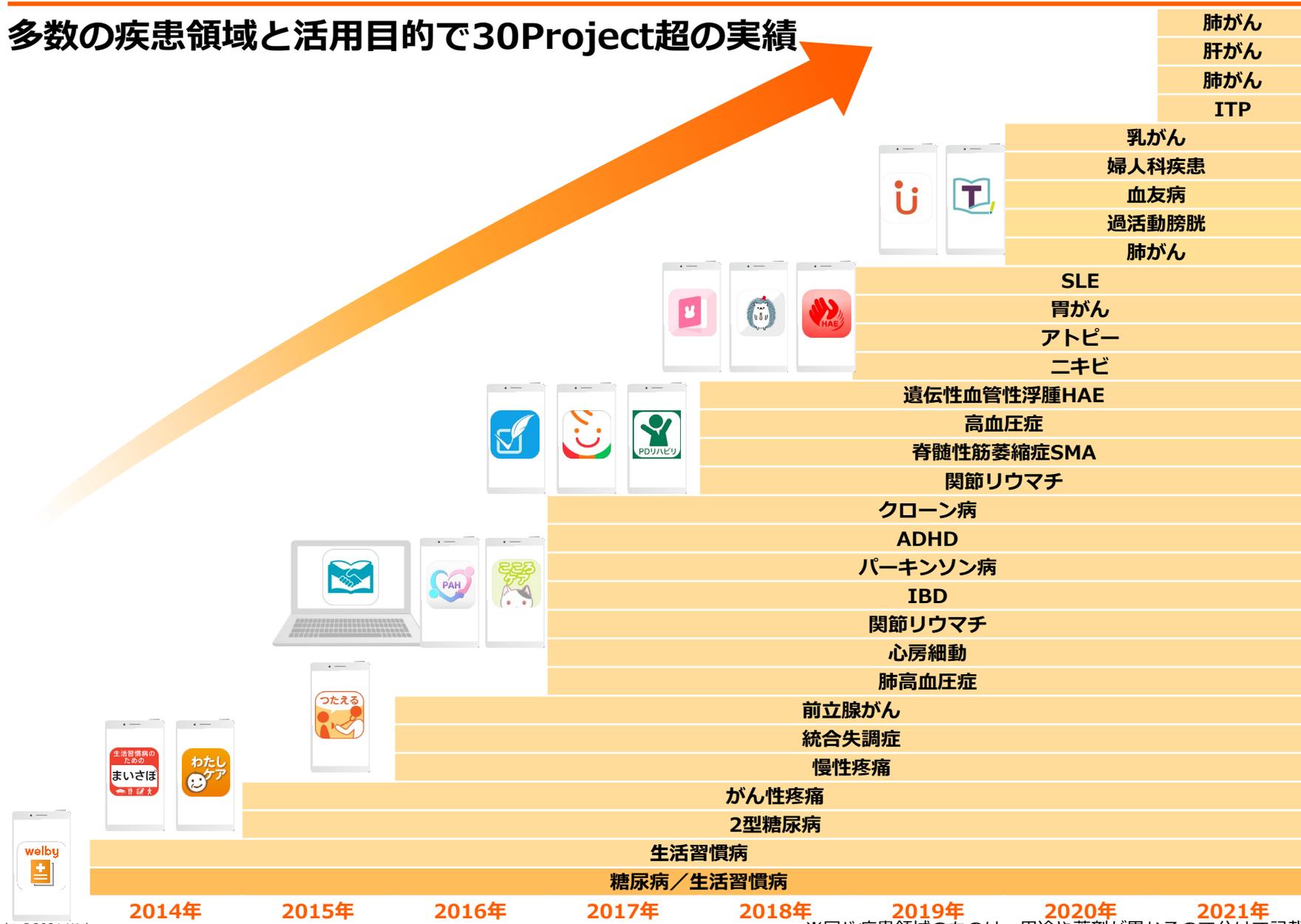
マイカルテ事業

- 「Welbyマイカルテ」のプライマリ領域（循環器領域、糖尿病領域など）での更なる普及
- COVID-19に対応した個人・組織・医療機関のPHRでのサポートの強化：ワクチン接種管理
- ユーザー向けPersonalized（個別化）サービスの強化：医薬品、医療機器、+食品ドメインの強化

Real World Data事業

- 個人IDでデータを連携させるReal World DataのDBを推進：健診+検査+処方+PROデータ
- 電子カルテを中心にEMR/EHR連携の強化：データ連携+臨床現場への社会実装
- 収益基盤をスポンサードPHR開発/利用に加えて、PHRサービス・データ利用のSaaS/PaaS型事業+DTC(Direct to Customer)の拡大を図る：医薬品、医療機器、+食品ドメインなど

多数の疾患領域と活用目的で30Project超の実績



疾患別治療アプリに共通基盤提供

- 高度のセキュリティ対策を施した“Welby PHR プラットフォーム”をベースに、各疾患患者向けアプリおよび連携サービスを構築（プラットフォームが様々な連携/拡張を可能に）
- サービスリリース後の運用（データベース、アプリの保守、カスタマーサポート等）までフルサポート



オンコロジー（がん）領域向けPHR「WelbyマイカルテONC」

①患者さん視点のがん症状の「見える化」、②情報アクセス機会の提供によりがん患者さんの治療アウトカム向上。アドヒアランス向上と有害事象管理で継続的な治療を実現。

Welby マイカルテONCの提供

医療機関

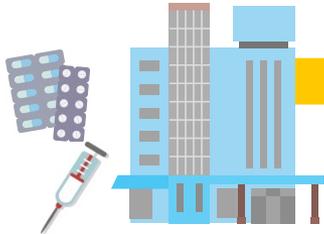


コミュニケーションサポート

課題

- ・ 院外情報の把握が困難
- ・ 患者教育を十分に行えない

製薬会社



適正使用情報PRO情報提供

- ・ 個に最適化された情報処方により、Drop率の低下や有害事象対応の迅速化、最小化を実現
- ・ 結果的に患者さんのアウトカム最大化に貢献

課題

- ・ 患者さんに適切なタイミングで情報を届けられない



マイカルテONC

患者



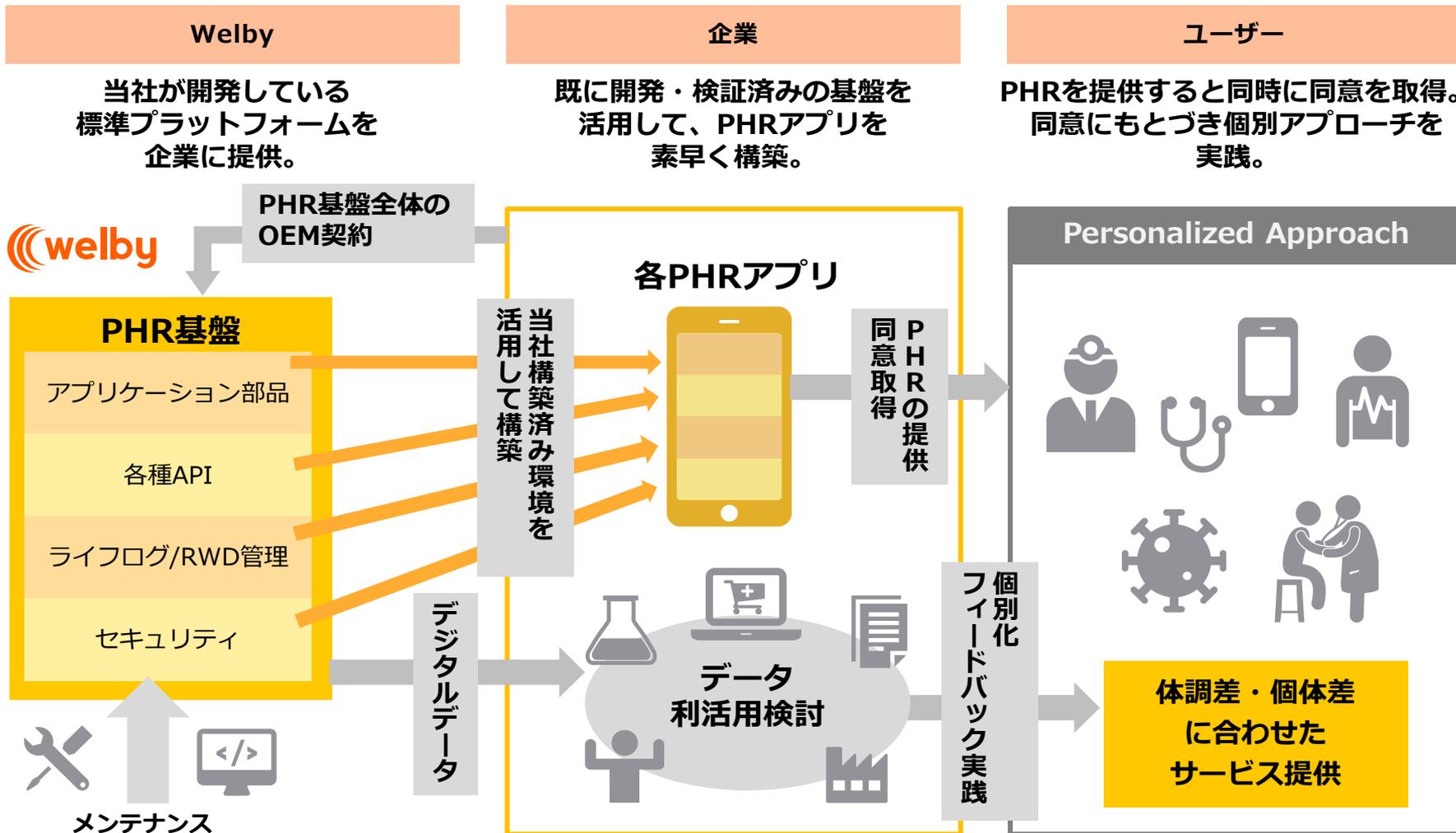
病気や薬の理解

症状記録/振り返り

課題

- ・ 知識の不足
- ・ 記録ツール不足
- ・ 経過を伝えられない

PHR基盤を共通基盤として提供することで、PHRアプリを、当社事業基盤を流用する形で開発/提供。各セクター企業のヘルスケアでのPHRサービス提供、データ分析等に貢献。



食品メーカー向けヘルスケア領域パーソナライズサービス

マイカルテ利用中ユーザーへのPersonalized Approachについて、ミツカン様とのトライアルを開始。ZENBシリーズの効果実感とデータ二次利用を実現。

ユーザー

ミツカンPOCでの取り組み



マイカルテユーザーからの
データ利活用同意にもとづき、
特定バイタル群ユーザーに対して、
Personalized Approachを実践



目次

1 会社概要

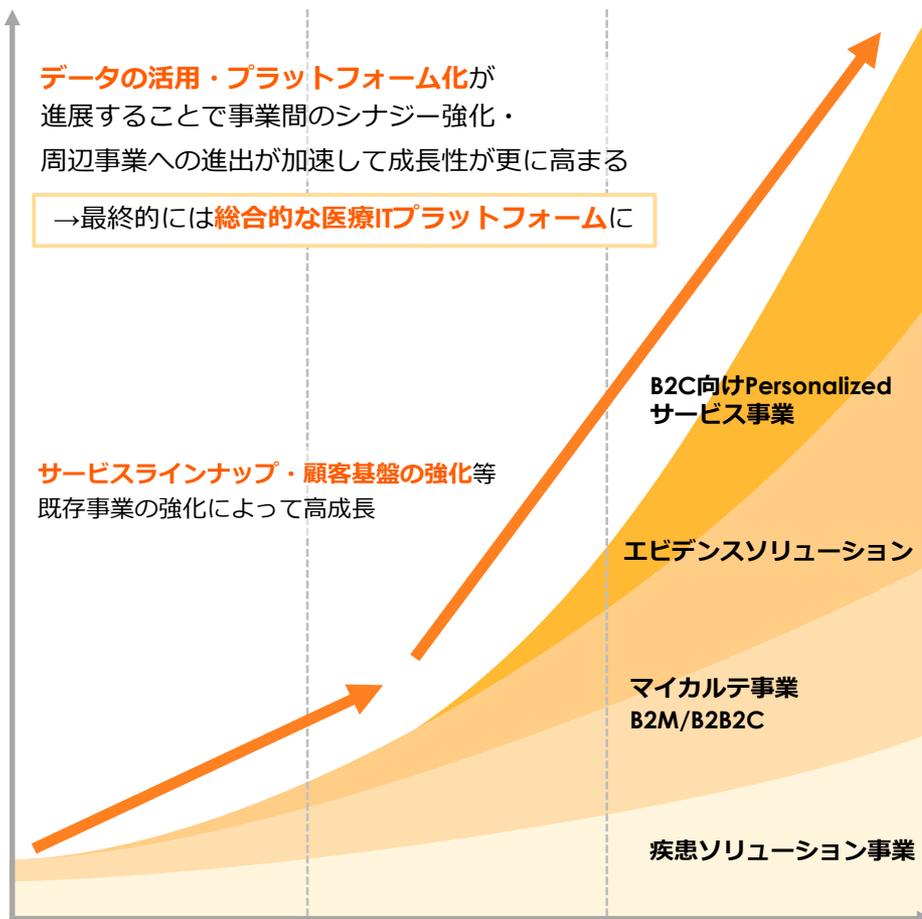
2 2021年第2四半期業績

3 今期重点取組施策

4 今後の成長

5 参考資料

既存事業で拡大しつつ、以下三分野で更なる強化を図る



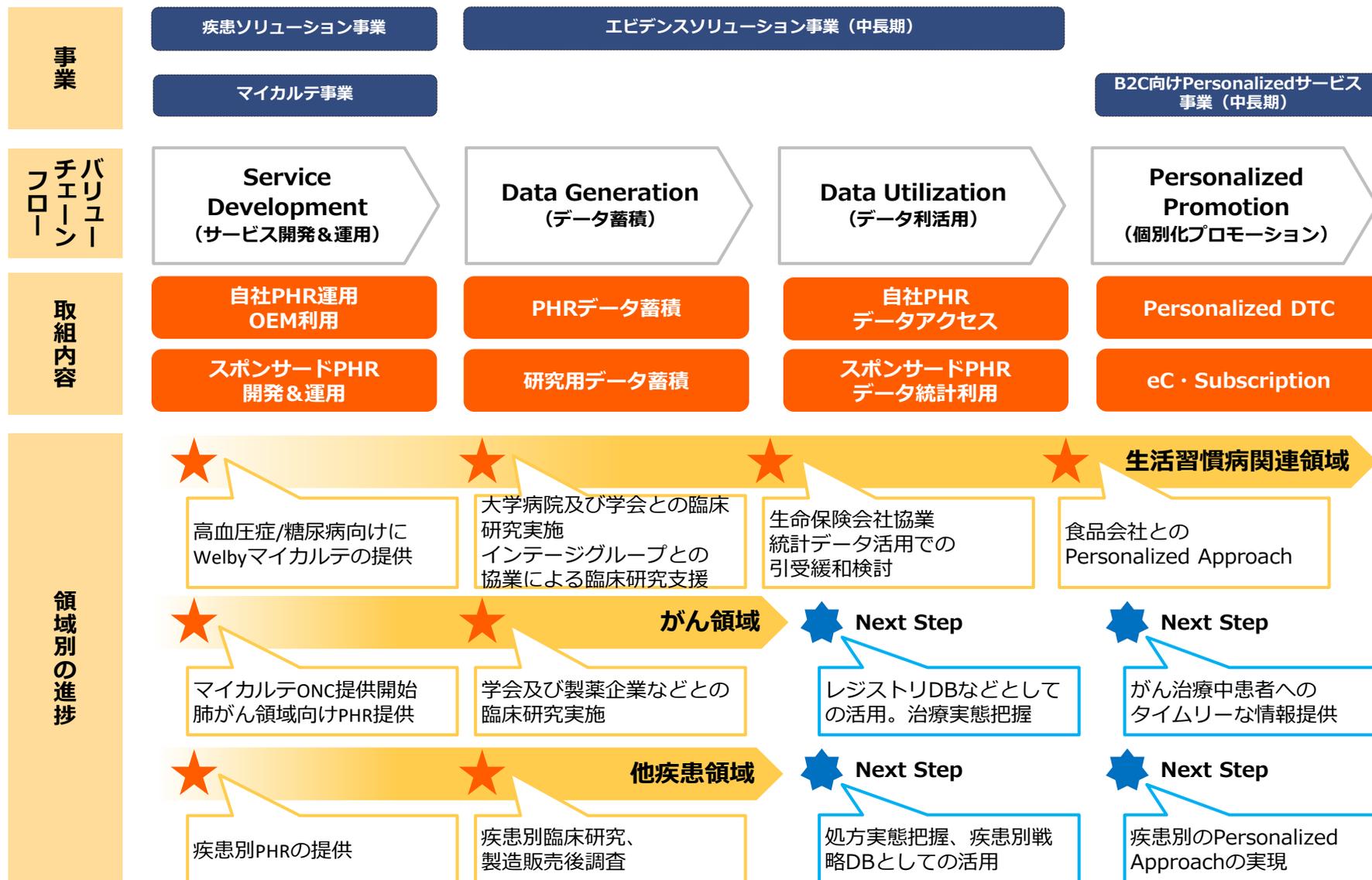
中期～長期

- ✓ **エビデンスソリューション**
RWD (Real World Data) の活用：患者レジストリ、医薬品の開発、臨床研究、市販後調査など
- ✓ **疾患領域別プラットフォームの推進**
オンコロジー等での疾患領域プラットフォームの開発
- ✓ **B2C向けPersonalizedサービス**
個人向けDTCサービス（疾患情報提供）、B2Cサービス（物販、コーチング）、などPHRプラットフォームサービスの価値向上による収益機会の獲得

現在～短期

- ✓ **疾患ソリューション事業：**
PHR適用対象疾患、対象薬品の拡大による収益拡大（マーケティング支援）
- ✓ **マイカルテ事業：**
医療機関向け+企業・健保向けソリューションによる収益拡大

短期/中長期での事業バリューチェーンとその進捗



★ 着手済みの事業 ★ 今後取り組む領域

目次

1 会社概要

2 2021年第2四半期業績

3 今期重点取組施策

4 今後の成長

5 参考資料

「Welbyマイカルテ」

～生活習慣病（糖尿病/高血圧症）向けPHR～



記録内容・方法	測定項目
行動（生活習慣の目標管理/ToDo）	行動目標達成率
運動（歩数/距離） 活動量計と連携	歩数(歩) / 距離(km) / 消費カロリー
体重 体組成計と連携	体重 (kg)
血圧（血圧/脈拍） 血圧計連携	血圧 (mmHg) / 脈 (拍/分)
血糖値 血糖測定器連携	血糖値 (mg/dl)
おくすり 電子お薬手帳/ 処方箋QRコード	服薬記録
食事 スマホ・カメラ利用	食事の写真
睡眠 活動量計と連携	睡眠時間 / 睡眠強度
血管年齢 QRコード利用	CAVI
検査値 検査データ連携/ QRコード利用	HbA1c / コレステロールなど

患者のデータ(PRO: Patient Reported Outcome)を医療従事者がリモートで管理患者と食事の写真やデータを見ながら遠隔でコミュニケーション



大項目	項目	主要なリスク	主な対応策
事業環境	競合について	PHR業界での競合は同様の規模感のものは現在明確に存在しないが、今後高い知名度、幅広い顧客基盤を有する他社の参入等、当社の競争優位性が低下する可能性	対象疾患領域での早期のユーザー獲得、提供アプリの最適なUI/UXを追求した機能設計、特色あるサービスの提供、取引の安全性の確保やカスタマーサポート充実への取り組みなどにより対応
事業運営	収益の季節変動性について	外資系製薬企業の決算が集中する第4四半期における売上高及び利益がそれらの時期に集中する傾向	内資系製薬企業や他業種からの受注を拡大するなど案件の平準化により対応
事業運営	個人情報の取り扱いについて	個人情報流出等の不測の事態が生じて患者個人のプライバシーが侵害される可能性	セキュリティの強化、個人情報保護法を遵守するとともに、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)であるISO27001の認証を取得。GDPR等諸外国の個人情報保護法制についても、外部弁護士等専門家に確認をしながら対応
その他	新型コロナウイルスの感染拡大について	製薬企業等の意思決定の遅延などにより受注のリードタイムが長期化する傾向	医療領域のDX(デジタルトランスフォーメーション)化の追い風を利用し、他業種を含めた商談を増やし、リードタイム管理により対応
その他	各種規制について	関連法令や業界団体による規制等の改廃、新設が行われた際に、当社が何らかの対応を余儀なくされる可能性	渉外担当者を通じて制度改正のモニタリングや管轄官庁と連携して対応

※有価証券報告書記載の【事業等のリスク】に記載の内容のうち、主要なリスクを抜粋。その他のリスクは有価証券報告書を参照。

回次		第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
決算年月		2016年12月	2017年12月	2018年12月*	2019年12月*	2020年12月
売上高	(千円)	253,464	474,753	808,005	798,516	864,644
経常利益又は 経常損失 (△)	(千円)	△136,122	△76,092	153,959	△1,354	△237,404
当期純利益又は 当期純損失 (△)	(千円)	△136,412	△76,963	176,566	△11,303	△353,093
資本金	(千円)	178,900	684,900	684,900	903,050	916,650
発行済株式総数	(株)					
普通株式		1,460	1,680	1,855,000	7,784,800	7,832,800
A種優先株式		175	175	—	—	—
純資産額	(千円)	131,726	1,066,763	1,243,330	1,668,327	1,357,539
総資産額	(千円)	211,416	1,227,179	1,406,481	1,829,182	1,520,139

※当社は2018年3月30日付で1株につき1,000株に分割し、2019年10月4日付で1株につき4株に分割しました。

本資料の取扱いについて

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。

本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的にも黙示的にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、「事業計画及び成長可能性に関する事項」において、進捗状況を含む最新の内容を半期決算毎に開示する予定です。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

